

事業所名

放課後等デイサービス こもれび

支援プログラム（参考様式）

作成日

R6年

9月

20日

法人（事業所）理念		障害のある児童が生活向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障害のある児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。							
支援方針		利用者が日常生活における基本的動作および知識技能を習得し、集団生活に適応することができるよう、利用者の身体および精神の状況、並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする							
営業時間		10時	00分	から	19時	00分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	健康状態を学校やご家庭と連絡を取り合い、睡眠・食事・排泄等の状況を把握し、顔色や服装・メンタル面等の小さなサインを見逃さないよう観察を行います。それに伴い、個々の発達段階や生活環境を考慮し、飲食への配慮や清潔にすることの大切さ等の基本的な生活スキルの向上を目指していきます。							
	運動・感覚	それぞれが持つ特性を把握し、出来ることから少しずつ挑戦していきながら、日常生活に困難をきたさないような対策を考え支援をする。感覚の過敏・鈍麻に対する特性を踏まえ、楽しみながら体を動かしたり、指先を使った活動をしたり、五感や平衡感覚・固有感覚を意識した活動を行っていき、つまづきを理解し、できなかったことができるようになった達成感を味わい、自信に繋げて行けるように支援します。							
	認知・行動	学習支援：個別学習計画や宿題のサポートで、学習に臨む気持ちづくりを中心に、基礎的な学習スキルを身につけられるよう支援します。ブロック遊びなどを通して、色や形、大きさ、重さなどを無理なく感じ取れるよう促していきます。							
	言語コミュニケーション	家庭や学校との意思疎通を行い児童への理解を深め、個々の児童に合った言葉だけではなく、絵カード・身振り・手振り・ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションで相互理解を図ります。							
	人間関係社会性	個々の遊びから集団遊びへ。意思を尊重しながら、集団や個の活動を促していきます。特性に配慮をしながら、様々な人との関わり、経験を積んで相手への配慮や社会性を学び、尊敬やいたわる気持ちを持って接することができるようにする。公共の場での約束やルールを理解し、その場に合った振る舞いができるよう支援をする。							
家族支援		ご家庭や学校等と連携を図りながら相談援助を行う。			移行支援		必要に応じて学校等を訪問し、対応方法等の関わり方について、共通理解を図り、事業所以外での生活も充実に向け取り組む。		
地域支援・地域連携		関係機関と必要に応じて連携を図りながら、自立に向けたサポートを行い、支援をしていく。			職員の質の向上		外部研修・リモート研修・内部研修等を行い、支援方法等検討していきながら、研鑽していく。		
主な行事等		誕生日会・遠足・秋祭り・送別会・進級進学を祝う会・公園遊び・おやつ作り							